

環境会計

環境保全活動に対する投資、費用とその効果を把握して、環境保全活動の効率化に努めています。コスト集計及び効果の把握方法は環境省「環境会計ガイドライン2005版」を参考にして作成しました。

環境保全コスト

分類	主な取り組みの内容	2021年度			2022年度			
		投資額 (千円)	費用額 (千円)	CO ₂ 削減 効果 (t-CO ₂)	投資額 (千円)	費用額 (千円)	CO ₂ 削減 効果 (t-CO ₂)	
(1)事業エリア内コスト	—	183,137	473,242	—	166,180	537,300	—	
内 訳	(1)-1公害防止コスト	ばい煙・地下タンク・浄化槽検査費 グリーストラップ等設備導入費 グリーストラップ清掃費、浄化槽維持費など	133,805	111,425	—	135,965	132,554	—
	(1)-2地球環境保全コスト	LED照明工事など	49,332	78,905	92	30,215	55,192	275
	(1)-3資源循環コスト	廃棄物処理費、生ゴミリサイクル費など	—	282,912	—	—	349,554	—
(2)上・下流コスト	容器包装リサイクル法再商品化委託料	—	36,383	—	—	45,669	—	
(3)管理活動コスト	ISO審査費用、環境教育、EMS各種勉強会、展示会、新店の緑地など	13,067	29,538	—	12,121	37,807	—	
(4)研究開発コスト	—	—	—	—	—	—	—	
(5)社会活動コスト	各種組合費など	—	50	—	—	50	—	
(6)環境損傷対応コスト	アスベスト除去費用	—	14,500	—	—	27,303	—	
合計	—	196,204	553,713	92	344,481	648,129	275	

※対象企業：原信、ナルス

※減価償却費については2000年以降に実施した原信の設備投資について集計しており、ナルスでは集計していません。

環境保全効果

環境保全効果の分類	環境パフォーマンス指標(単位)	2021年度	2022年度
事業活動に投入する資源に関する環境保全効果	電力使用量(MWh)	183,497	182,734
	ガス使用量(千m ³)	357	371
	重油使用量(kℓ)	44	48
	灯油使用量(kℓ)	261	137
	軽油使用量(kℓ)	3,339	4,203
	水使用量(千m ³)	771	727
事業活動から排出する環境負荷及び廃棄物に関する環境保全効果	CO ₂ 排出量(t-CO ₂)	94,879	94,869
	廃棄物総排出量(t)	24,442	24,685
	廃棄物最終処分量(t)	5,756	6,343
	排水量(千m ³)	771	727
事業活動から産出する財・サービスに関する環境保全効果	レジ袋回収量(t)	5	6
	紙パック回収量(t)	342	342
	発泡トレイ回収量(t)	246	251
	透明容器回収量(t)	557	575
	ペットボトルキャップ回収量(t)	88	94
	ペットボトル回収量(t)	295	305

※対象企業：原信、ナルス、フレッセイ

環境保全対策に伴う経済効果

(単位:千円)

効果の内容		2021年度	2022年度
収益	リサイクル品売却益	38,554	67,271
	店頭回収品売却益	8,501	9,960
費用削減	店頭回収による容リ法再商品化委託料の節減	21,981	35,884
	ショッピングバッグ持参によるレジ袋費の節減	250,101	242,571
合計	—	319,137	355,686

※対象企業：原信、ナルス、フレッセイ